

質問に対する回答書について

工事名) 秋田自動車道 岩瀬橋他2橋(鋼上部工) 工事

質問事項と回答

番号	質 問	回 答
1	本工事において、土木工事積算基準は令和7年度版を適用すると考えて宜しいでしょうか。	12月8日に掲載予定の参考積算条件書をご確認ください。
2	本工事において、物価資料の採用単価年月は、令和7年12月版を適用すると考えて宜しいでしょうか。	12月8日に掲載予定の参考積算条件書をご確認ください。
3	工事工程表(概略工程表)のバーチャートから、工期末は冬季中止期間である令和12年1月31日と読取れます。後片付け・書類作成は冬季中止期間でも可能であると考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。 現場作業以外の後片付け・書類作成は冬季休止期間中でも可能です。
4	本工事において当初より複数班施工を想定されている工種がございましたら、工種ならびに班数をご教示願います。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
5	本工事の施工は全て昼間作業と考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。
6	特記仕様書 P7 11-2 河川区域における施工時期 において、「力石橋(河川内B2～4ベントの設置・撤去)」「土渕橋(河川内B3、B4ベントの設置・撤去)」は非出水期に行うと指定されておりますが、当該ベントは出水期間も存置可能と考えて宜しいでしょうか。	令和7年8月27日掲載「質問に対する回答について②」質問番号3に対する回答のとおりです。
7	本工事で使用する建設機械の損料について、「積雪地域等における補正」を考慮する機材があればご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
8	特記仕様書 P26 25-6 鋼構造物の架設 において、鋼橋の架設 A、鋼橋の架設 B (P1-A2 間)、鋼橋の架設 C の架設工法が「トラッククレーンベント工法」と記載されておりますが、「クローラクレーンベント工法」が正と考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。 設計図(1/6)力石橋 68/81、設計図(2/6)岩瀬橋 86/102、設計図(3/6)、土渕橋 81/101に記載のとおり、鋼橋の架設 A、鋼橋の架設 B (P1-A2 間)、鋼橋の架設 C は、いずれもクローラクレーンによる架設を想定しています。

9	力石橋の A1 橋台及び A2 橋台背面には、重機が乗り入れ可能と考えて宜しいでしょうか。	力石橋の A1 橋台及び A2 橋台背面への重機の乗り入れは、不可とお考えください。
1 0	岩瀬橋の A1 橋台及び A2 橋台背面には、重機が乗り入れ可能と考えて宜しいでしょうか。	岩瀬橋 A1 橋台背面への重機の乗り入れは、設計図（2 / 6）岩瀬橋 85/102 に記載のとおり、送り出しヤードとして計画しているため、可能とお考えください。 岩瀬橋 A2 橋台背面への重機の乗り入れは、不可とお考えください。
1 1	土洩橋の A1 橋台及び A2 橋台背面には、重機が乗り入れ可能と考えて宜しいでしょうか。	土洩橋の A1 橋台及び A2 橋台背面への重機の乗り入れは、不可とお考えください。
1 2	8-（1）コンクリート A1-3 について、橋台背面と橋台前面どちらからのコンクリート打設を想定しているかご教示願います。	質問番号 9、10、11 の回答を踏まえ、貴社の施工計画に基づきお考えください。
1 3	力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 73/81）及び力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 78/81）で示されている V カット費用が込まれている設計書項目をご教示願います。	V カット費用は単価項目「型わく A」に含まれます。
1 4	金抜設計書 8-（3）鉄筋 A（E）について、想定しているエポキシ樹脂塗装鉄筋の輸送起点をご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
1 5	金抜設計書 8-（3）鉄筋 A（E）について、力石橋・岩瀬橋・土洩橋までのエポキシ樹脂塗装鉄筋の輸送距離をそれぞれご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
1 6	金抜設計書 10-（4）鋼構造物の輸送 について、輸送起点は、「最寄りの橋梁製作工場が所在する市町村役場」と考えて宜しいでしょうか。	土木工事積算基準 15 編. 5「鋼構造物の輸送」に記載のとおりです。
1 7	金抜設計書 10-（4）鋼構造物の輸送 について、力石橋・岩瀬橋・土洩橋の想定している輸送距離をそれぞれご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。

18	力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 68/81）架設時に使用する仮栈橋は、本工事の現場着手時には別工事で施工済みであり、本工事施工完了後に別工事で撤去すると考えて宜しいでしょうか。異なる場合、設置・撤去時期をご教示願います。	令和 7 年 8 月 22 日掲載「質問に対する回答について②」質問番号 4 に対する回答のとおりです。
19	力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 68/81）において、B1～B4 ベントの設置・撤去は仮栈橋上から、B5 ベントの設置・撤去は側面ヤードから行うと考えると宜しいでしょうか。異なる場合、クレーン据付可能位置を教えてください。	貴社の施工計画に基づきお考えください。 なお、いずれのベントも設置・撤去は、仮栈橋上または側面ヤードから行うことを想定しています。
20	岩瀬橋（上り線）架設計画図（1）（参考図）（図面番号 85/102）において、A1-P1 間の桁送出し～降下作業は、冬期中止期間を除く非出水期（令和 10 年 10 月 1 日～令和 10 年 12 月 1 日）に完了させるものと考えて宜しいでしょうか。	岩瀬橋 A1-P1 間の桁送出し～降下作業は、出水期、非出水期に関わらず、冬期休止期間以外で施工可能とお考え下さい。
21	岩瀬橋（上り線）架設計画図（2）（参考図）（図面番号 86/102）において、B1～B4 ベントの設置・撤去で使用するクレーンは、当該図面の平面図に示される 200 t 吊クローラクレーンの位置よりも架橋地点に近い位置に設置できるものと考えて宜しいでしょうか。	設計図（4／6）工事用道路 19/39 に示す施工ヤード内において、B1～B4 ベントの設置・撤去で使用するクレーンが設置可能とお考えください。
22	土渕橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 81/101）において、地組用クレーンを B1～B7 ベントの設置・撤去でも使用すると考えて宜しいでしょうか。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
23	土渕橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 81/101）において、①～④ブロックを架設している 120 t 吊 CC の現場内移動が未計上ですが、工事用仮栈橋 T 2 は分解せずに走行して移動できるものと考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。

2 4	<p>金抜設計書 10- (5) 鋼橋の現場溶接工において、設計溶接延長は下記のいずれを想定しているかご教示願います。</p> <p>①力石橋・岩瀬橋・土渕橋の 3 橋分合算の総延長</p> <p>②1 橋毎の総延長</p>	積算に関する質問はお答えできません。
2 5	<p>金抜設計書 10- (5) 鋼橋の現場溶接工において、平均板厚による係数及び加重平均板厚は下記のいずれを想定しているかご教示願います。</p> <p>①力石橋・岩瀬橋・土渕橋の 3 橋分合算の平均板厚</p> <p>②橋梁形式毎（力石橋・岩瀬橋：細幅箱桁、土渕橋：少数鉸桁）</p> <p>③1 橋毎の平均板厚</p>	積算に関する質問はお答えできません。
2 6	<p>力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 68/81）において、A1 橋台への支承設置時のクレーン位置は、橋台背面と仮栈橋上のいずれを想定しているかご教示願います。</p>	質問番号 9 の回答のとおりです。
2 7	<p>力石橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 68/81）において、A2 橋台への支承設置時のクレーン位置は、橋台背面と側面ヤードのいずれを想定しているかご教示願います。</p>	質問番号 9 の回答のとおりです。
2 8	<p>岩瀬橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 86/102）において、P1 橋脚への支承設置に使用するクレーン規格をご教示願います。</p>	貴社の施工計画に基づきお考えください。
2 9	<p>岩瀬橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 86/102）において、A2 橋台への支承設置時のクレーン位置は、橋台背面と側面ヤードのいずれを想定しているかご教示願います。</p>	質問番号 1 0 の回答のとおりです。
3 0	<p>土渕橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 81/101）において、A1 橋台への支承設置時のクレーン位置は、橋台背面と側面ヤードのいずれを想定しているかご教示願います。</p>	質問番号 1 1 の回答のとおりです。

3 1	土洩橋（上り線）架設計画図（参考図）（図面番号 81/101）において、A2 橋台への支承設置時のクレーン位置は、橋台背面と側面ヤードのいずれを想定しているかご教示願います。	質問番号 1 1 の回答のとおりです。
3 2	力石橋（上り線）中央分離帯転落防止網（図面番号 64/81）、岩瀬橋（上り線）中央分離帯転落防止網（図面番号 81/102）、土洩橋（上り線）中央分離帯転落防止網（図面番号 76/101）の中央分離帯転落防止網施工時に必要な足場の構造図がございましたら、公表をお願いいたします。	中央分離帯転落防止網施工時に必要な足場の構造図はございません。貴社の施工計画に基づきお考えください。
3 3	金抜設計書 17-（32）コンクリート表面被覆工 について、橋台パラペット部の施工は固定足場と移動足場（高所作業車）のいずれを想定しているかご教示願います。	積算に関する質問にはお答えできません。
3 4	参考図 配管配線平面図（1）（図面番号 40/42）～配管配線平面図（3）（図面番号 42/42）について、本工事の施工範囲外と考えて宜しいでしょうか。	そのとおりです。 参考図 配管配線平面図（1）（図面番号 40/42）～配管配線平面図（3）（図面番号 42/42）は、特記仕様書 10「関連施設その他との関係(4)電力、通信施設関係」に示す関連施設の設置状況を明示しているものであり、本工事の施工範囲外です。